



平成30年11月1日

# 福岡県内経済情勢報告

平成30年11月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-9038

FAX 092-452-1318

# 福岡県内経済情勢報告（平成30年11月）

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、回復している」

項目	前回（30年7月判断）	今回（30年10月判断）	前回比較
総括判断	回復している	回復している	→

（注）30年10月判断は、前回7月判断以降、足下（10月末）の状況までを含めた期間で判断している。

### （判断の要点）

個人消費は回復しているほか、生産活動は緩やかに回復しており、雇用情勢は改善している。

### 【各項目の判断】

項目	前回（30年7月判断）	今回（30年10月判断）	前回比較
----	-------------	--------------	------

個人消費	回復している	回復している	→
生産活動	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→
雇用情勢	改善している	改善している	→

設備投資	30年度は増加見通し	30年度は増加見通し	→
企業収益	30年度は増益見通し	30年度は増益見通し	→
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↘
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	→

### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響等海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復している」

百貨店・スーパー販売額は、スーパーでは飲食料品が堅調であるものの、百貨店では衣料品等が低調なことなどから、全体では前年を下回っている。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果に加え、店内調理の食料品が好調なことなどから、前年を上回っている。乗用車販売は、普通車、軽自動車の新型車が好調なことなどから、前年を上回っている。ドラッグストア販売額は、新規出店効果に加え、飲食料品等を中心に好調なことなどから、前年を上回っている。家電販売額は、高性能家電等の普及拡大に伴い商品単価が低下していることなどから、前年を下回っている。ホームセンター販売額は、DIY用品や資材などが好調であったほか、冷房器具等にも動きがみられたことなどから、前年を上回っている。このように、個人消費は回復している。

### ■ 生産活動 「緩やかに回復している」

輸送用機械の自動車は、海外向けを中心に引き続き好調に推移するなど、緩やかに回復している。鉄鋼は、国内外向けの自動車用鋼材や海外向けの軌条が好調なことなどから、高い操業を維持している。電子部品・デバイスは、車載向けを中心に引き続き好調に推移している。このように、生産活動は緩やかに回復している。

### ■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は引き続き高水準で推移している。新規求人数は、医療・福祉及び宿泊業・飲食サービス業等で増加している。新規求職者数は引き続き前年を下回っている。このように、雇用情勢は改善している。

### ■ 設備投資 「30年度は増加見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年7-9月期

30年度は、製造業は前年比16.6%の減少見通し、非製造業は同36.1%の増加見通しとなっており、全産業では同19.2%の増加見通しとなっている。

### ■ 企業収益 「30年度は増益見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年7-9月期

30年度は、製造業は前年比2.5%の増益見通し、非製造業は同0.7%の増益見通しとなっており、全産業では同1.1%の増益見通しとなっている。

### ■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数で見ると、貸家や分譲住宅が減少していることなどから、前年を下回っている。

### ■ 輸出 「前年を上回っている。」

輸出(円ベース)は、前年を上回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

#### (その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(30年7-9月期)の景況判断BSIで見ると、30年7-9月期は、引き続き「下降」超となっている。先行きについては、30年10-12月期は、「上昇」超に転じる見通しとなっている。